

■第5回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ

開催日：平成21年10月31日（土）

【テーマ】全体構想素案に対する意見交換 () カッコ内はグループ名

項目	修正事項		追加事項		その他
	頁		頁		
【第1章】 主要課題の整理	1	<ul style="list-style-type: none"> ■産業全般という表現は土地利用の表現ではないのではないか（緑） ■「木造住宅密集地」→既存住宅としたほうがいい（黄） ■「雇用の創出」→都市マスには関係ないので（黄） 	1	<ul style="list-style-type: none"> ■「木造住宅密集地」はむつ地域以外をイメージできるようにする（緑） 	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な商業地づくりのプランがないと、商業地の賑わいは生まれない（青） ■用途地域の見直し範囲はいつ頃決めるのか（黄） ■都市計画道路の整備時期は決めるのか（黄） ■下北半島縦貫道路の位置づけは必要（黄） ■人口減少しているのに、市街地が広がっている（黄）
	他	<ul style="list-style-type: none"> ■都市計画区域のなかだけで、計画を考えたほうがぼやけなくてよいのでは（黄） 	3	<ul style="list-style-type: none"> ■下水道に合併浄化槽の話がないので追加する（緑） 	
【第2章】 都市の将来像	4	<ul style="list-style-type: none"> ■上位計画と共有というのはおかしいので「理念の共有」を「長期総合計画を踏まえる」に言い換える（緑） 	7	<ul style="list-style-type: none"> ■4つの目標の「大地」を全体構想へどのように踏まえたのか、説明がない（青） 	<ul style="list-style-type: none"> ■将来的に市街地を広げるか広げないのかがはっきりしていないと、将来像が想像しづらい（青） ■将来に人口が減少するのであれば、用途地域が広すぎることにならないか（黄）
	9	<ul style="list-style-type: none"> ■「企業の誘致」→誘致を第一に考えるのではなく地域産業の活性化を踏まえた表現にする（青） 	9	<ul style="list-style-type: none"> ■民有地の自然環境や景観を改善する（青） 	
	他	<ul style="list-style-type: none"> ■キャッチフレーズについて、どんな都市なのかを簡単に表現できないか。 キーワード：「エネルギー」、「自然」 案：生活・産業・自然・エネルギーが共に生きる大地（緑） 	13	<ul style="list-style-type: none"> ■将来人口フレームに地元定着などの施策を考慮した案はないか（青） ■産業別の人口が必要ではないか（緑） 	

項目	修正事項		追加事項		その他
	頁		頁		
【第3章】 将来都市構造	14	<ul style="list-style-type: none"> ■「新たな開発整備を抑制」は削除してもよいのではないか（緑） 	15	<ul style="list-style-type: none"> ■観光拠点→下北全域が観光拠点となるような考え方はできないか（青） 	<ul style="list-style-type: none"> ■防衛用地の中に都市軸が通っているので、万が一のときの代替道路として338号のバイパスを伸ばす必要がある（緑）
			17	<ul style="list-style-type: none"> ■薬研佐井線と川内佐井線を結ぶ市道を都市軸に追加する（緑） 	
【第4章】 全体構想	19	<ul style="list-style-type: none"> ■都市型居住エリアは住宅地エリアをして、閑静な住宅地として規制すべき（黄） ■都市型居住エリアの規制・誘導、生活利便性の高い都市型住宅地について、具体的な手法を記載すべき（黄） ■住宅地エリアに高齢者などが安心して歩いて買い物ができる環境とあるが、住宅地に商業地を設けるべきでない（黄） ■中心商業エリアの対象がむつ地域の田名部地区としているが、具体的な表現としないと誤解を生じる（黄） 	19	<ul style="list-style-type: none"> ■「適正な土地利用の規制・誘導」の適正を削除する（緑） ■「都市型住宅地」をわかりやすい表現にする（緑） ■地区計画などで、用途地域内も細かな建築規制を作るべき（黄） 	<ul style="list-style-type: none"> ■偏った下水道整備を行っている（緑） ■新たな住宅地を整備する場合は、行き止まり道路をつくらないようにする（緑） ■市役所の移転により、338号バイパスが渋滞するようになった。道路の整備や改善が必要である（緑） ■コンパクトシティを目指して、中心市街地の活性化を図る（黄） ■計画は少しでも実現していけるように（黄） ■財政状況に合わせた計画とすべき（黄） ■周辺部に市街地が広がっているので、行政効率が悪い。中心部に空き家が多いので、人を戻す努力が必要（黄） ■都市計画道路は実施時期を明確に示すべき（黄） ■国道279号の線形を改良してほしい（黄）
			23	<ul style="list-style-type: none"> ■田名部地区の南北をつなぐ道路を整備すべき（黄） 	
			24	<ul style="list-style-type: none"> ■下水道に合併浄化槽の話がないので追加する（緑） ■鉄道に対して外来者を呼び込めるため（青森・八戸との連結、新幹線との連結）の工夫を表記する（緑） 	
	25	<ul style="list-style-type: none"> ■338号バイパスからむつ総合病院に入る道路が整備されていないのでアクセス道路の整備を表記する（緑） ■その他の公益的施設に交流施設（新たな道の駅など）の表記を追加する（緑） 			
	23	<ul style="list-style-type: none"> ■下北半島縦貫道路の吹越以降は国道279号の現道を利用することになったので表現を見直したほうがよい（黄） ■市の事業でできる部分と県や国に働きかける部分の表現をかえるべき（黄） 			